

事業番号	11 05 08	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	広域河川改修費			担当課	部局	建設部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・局・室	河川課		
	施策の総合的展開	4-1 地域防災力の向上 4 災害に強い地域づくり		E-mail	kasen@pref.nagano.lg.jp		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針			実施期間	S7 ~		
	施策展開						

1 事業の概要

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ○水害から人命・財産を守るため、水系、支川等を単位として、水系一貫した計画的な河川改修を実施する。 ○耐震対策、地盤沈下対策や市街地再開発事業等の他の事業と一体となった河川整備等を実施する。 ○河川の氾濫により浸水被害を受ける恐れのある区域の面積を減らすため、事業実施河川における改修の促進を図る。
現状（予算編成時）	<ul style="list-style-type: none"> ○治水安全度向上のため、引き続き計画的な河川改修が必要である。 ○計画に基づく河川改修延長（全体計画 132.4km）は、平成26年度末で 101.9kmが整備済みである。

県が関与する理由	県でなければ実施不可（法令等義務） 県民との協働による実施：実施は困難	【左記の説明、根拠法令等】 河川法
----------	--	----------------------

成果目標・事業内容	① 成果目標（H28）					
	事業実施河川における河川改修を0.8km実施するとともに、橋梁架替や用地補償等を実施し、事業の進捗を図る。また、9月補正（国補正対応分）により、砥川他4箇所において、河川改修を0.4km実施する。					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H28事業実績	H28 (当初)	H28 (決算)	H29 (当初)
	広域河川改修事業	直接	田川（松本市）他9箇所において、護岸工、橋梁架替、用地補償等を実施した。9月補正（国補正対応分）により、護岸工、用地補償等、事業促進を図った。	908,000	1,003,718	1,249,525
	合計			908,000	1,003,718	1,249,525

事業コスト	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	前年度繰越	502,336	230,680	566,667	項目	H26末	H27末	H28			H29 目標
	当初予算	1,333,000	908,000	1,249,525				目標	成果	達成状況	
	補正予算	-251,600	494,623		河川改修実施延長	1.1km	0.3km	0.8km	0.8km	達成	0.5km
	合計(A)	1,583,736	1,633,303	1,816,192	橋梁架替実施箇所数	3箇所	4箇所	2箇所	2箇所	達成	1箇所
	一般財源	90,573	24,545	71,285	河川改修実施延長(補正)	1.1km	0.3km	0.4km	0.4km	達成	-
	県債	741,000	849,000	902,000							
	国庫支出金	752,163	759,758	842,907							
	その他	0	0	0							
	決算額(B)	1,353,056	1,003,718								
概算職員数(人)	20.60	20.60	20.60								
概算人件費	170,486	163,028	163,028								
概算事業費(B(A)+C)	1,523,542	1,166,746	1,979,220								

目標に対する成果の状況	田川（松本市）他9箇所において、予定通り事業を実施し、目標の河川改修実施延長及び橋梁工実施箇所数を達成することができた。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 <ul style="list-style-type: none"> ・治水に対する住民要望は強く、早期に治水効果を発現させるため、平成29年度も効率的で重点的な予算配分により事業の進捗を図っていく。 ・平成29年度以降も効率的・重点的な予算配分による事業を推進する一方で、多自然川づくりを基本とした、環境、景観等に配慮した河川改修を行っていく。
-------------------	--